



### 十五夜の伝統行事を体験

**+** 五夜の伝統行事を楽しむイベントが、にじっこひろばで9月20日（木）に開催されました。これは、町内にも残る行事を若い世代にも体験してもらおうと企画されたもので、参加した親子は、はじめに、にじっこひろば内で民生委員の井上興四雄さん（南通）から、昔の人が月の満ち欠けなどに対して名前を付けていたことや、地域に伝わる十五夜の習わしなどを聞きました。その後、施設の外に出て、社会福祉協議会や虹のプラザ事務室などを「豆あげだがは〜」と訪ね歩き、お菓子などをもらう「豆名月」の行事を楽しみました。

### 伝統芸能「歌舞伎」を堪能

**酒** 田市出身の歌舞伎役者千川貴楽さんらによる歌舞伎公演が10月15日（月）に虹のプラザ多目的ホールで行われました。公演は昼夜2回行われ、このうち昼の部は小中学生の芸術鑑賞会として開かれ、中学生と小学5・6年生児童が歌舞伎「応挙の幽霊」と舞踊「雨の五郎」を鑑賞しました。また、歌舞伎の化粧「隈取」体験では、3名の児童生徒がステージに上がり、歌舞伎役者を手本に自分自身で化粧を体験しました。本事業は紀文グループの創業80周年記念として協賛を受けて開催され、満席となった夜の部は、多くの町民が伝統芸能を堪能しました。



### 星と映画の夕べ

**大** 石田小学校で10月3日（水）に「星と映画の夕べ」が開催されました。これは町教育委員会と北村山視聴覚教育センターが開いたもので、大石田小の児童とその家族50名が参加してアニメ映画の上映会と星の観望を楽しみました。参加者は体育館でグリム童話などのアニメ映画を楽しんだほか、グラウンドでは観望会が行われました。この日の夜空は薄い雲に覆われていましたが、雲間からは時折、火星や土星などが姿をのぞかせ、参加者はタイミングを見計らって何度も望遠鏡をのぞいていました。今年は火星が地球に最も接近する年で、子どもたちは明るく輝く星を視聴覚教育センター職員の説明を聞きながら熱心に観察していました。



### いろいろな国の文化触れて楽しむ

**様** 々な国の文化を楽しむイベント「ワールドフェスティバル」が10月13日（土）にふたば児童センターのグラウンドで開催されました。会場には児童館に通う子どもたちが準備した韓国、アメリカ、ベトナム、イギリス、タイと、社会福祉協議会が準備した日本の、6か国の料理や遊びが体験できるブースが設けられ、地域の方や親子連れなどが訪れて、タイ風焼きそば「パッタイ」の屋台やイギリスのお茶会体験ブースなどを回り各国の文化に触れていました。子どもたちは、夏休み中から町内在住の外国出身の方からお話を聞くなどして準備をしていて、ステージでは各国の童謡などの披露も行われ、会場を盛り上げていました。



### 地域の芸能を学ぶ

**地** 域の伝統芸能を学ぼうと、大石田北小学校の5年生児童18人が9月20日（木）に、鷹巣地区で受け継がれている和太鼓演奏の指導を受けました。これは県村山教育事務所が主催する「ふるさと塾出前講座」として行われたもので、雪国鷹巣太鼓保存会（延澤健治代表）のメンバー延澤昌子さん、石塚友貴さんの2人が10月20日の学習発表会で披露する演目を伝授しました。石塚さんは「みんなの心が一つにならないと演奏がそろわない」と指導し、太鼓のパチを持つのはこの日が初めての児童らは、手に伝わる振動に驚きながらも熱心に取り組んでいました。



### 世界のおもちゃと遊びを体験

**世** 界の遊びやおもちゃを体験できるイベント「大石田子どもミュージアム」が9月16日（日）に虹のプラザで開催されました。これは子どもミュージアム in 山形実行委員会（吾妻正章代表）が開催したもので、会場となった虹のプラザ2階には世界中のおもちゃや遊びのコーナーが設けられ、子どもたちは自由に会場を回り、ここでしかできない遊びを楽しみました。このほか、韓国のチマチョゴリなど外国の衣装を着ることができるワークショップや、大石田とんとむがすの会による昔話、保護者向けの子育て講話なども行われました。

